

欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

プライムデリーフーズ株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市志和町冠2516-2

(3) 業種

調理パン・総菜製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29年を基準年度として、令和5年度から令和12年度までの8年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 29年度 (2017年度)	令和12年度 (2030年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
エネルギー 起源CO ₂	3,920	1,960 50.0	3,636 7.2	3,383 13.7			
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	3,920	2,695 31.3	3,636 7.2	3,383 13.7			
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	電力使用量は猛暑の影響もあり0.3%の微増となったが、ガス使用量については製造アイテムの変更や今まで続けてきたガスの省エネ対策により、11%削減が出来た。CO2排出量は前年比7%削減が出来た。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

※令和7年の提出分から削減目標を原単位から排出量に変更(計画書も併せて変更し再提出)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))						
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kJ)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価									

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	LPガスによる排出量は、 前年比ベースでは排出量で▲ 11.0%	・ボイラー蒸気バルブ等にエコジャケット設置 ・ガス、蒸気関係の未使用の場合は元栓を閉じる様に徹底 ・蒸気、温水配管の保温実施 ・蒸気漏れ箇所の早期修理対応 ・ガス（蒸気）使用量の多い加熱蒸気オーブンの蒸気噴出高さ改良により蒸気使用量削減 ・ガスの使用量を日々把握して朝礼で報告し掲示板に掲示する。 巡回時に注意喚起を行い不要であれば短時間でも止める
2	電気使用量の削減	電力による排出量は、 前年比ベースでは排出量で▲ 2.8%	・蛍光灯からLEDに変更 ・不要箇所電灯の消灯 ・空調機（室内外）のフィルター定期清掃実施 ・空調温度の適正化 ・コンプレッサー吐出管理 ・エアー漏れ箇所の早期修理徹底 ・空調室外機の日除け設置 ・古い空調設備の入替 ・電気の使用量を日々把握して朝礼で報告し掲示板に掲示する。 巡回時に注意喚起を行い不要であれば短時間でも止める ・出来るところについては照明を人感センサー方式に変更 ・部屋、冷蔵（冷凍）庫のドアについても可能な所はセンサー方式に変更し室温上昇によるエアコンの無駄運転を防止
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。